



「(こ)は、ホームセンター「ジャンボエンチョー」は、地元ではお馴染みのお店です。「ホームセンター」といえばエンチョーさんが、当社がLPガス供給を行っており、お付き合いがあった。今回、ホームセンター敷地内の大型建屋が「空き」になる事を受けて、お声がけを頂いた。ホームセンターに隣接する建物で、床面積は約300平米。ご覧の通り、結構広いです。これを生かして、地域のコミュニティスペースとなる新業態店舗を作ろうと発想しました。地域の「ハブ(中心点・接続点の意)」的なお店を作りたい、そう考えたんです」

この新業態・店舗の名前は「KOEIN(コエン)」。人が集い、人の暮らしが(こ)を描き、縁(エン)でつながっていく場所。また公園(コエン)のような地域のコミュニティを生む場所」になれるように、との願いが込められたネーミングだ。店舗の具体的な機能は、次のようになっている。

●カフェ  
地元でカフェ事業を展開する「CAFÉ yamatō(カフェやまと)」第一商事が誘致。店内のカフェ部分を担う。

型ホームセンターの一面にランドリー×カフェ×マルシェを融合させた新業態の店舗をオープンさせた(4月9日)。

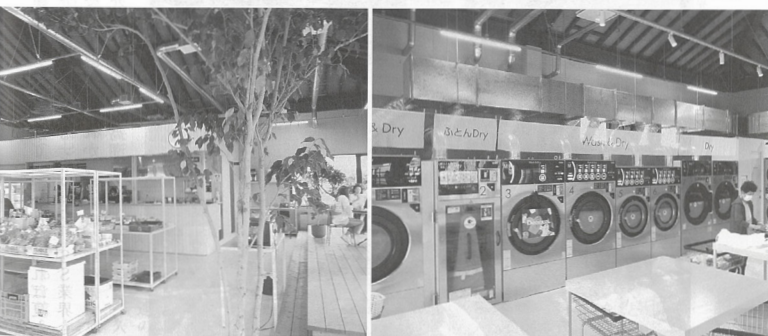
静岡県磐田市を中心にSSを展開する、第一商事(EN E O S系)。同社はSSのみならず、単独のコインランドリー事業(SS併設ではない)を「eコランドリー」ブランドで積極展開している事でも知られる。

また、地元のプロサッカーチーム「ジュビロ磐田」とタイアップし、同社SSでジュビロ・カラーにラッピングした特製の「応援レンタカー」を企画した事は、以前の誌でもお知らせした。

### SS企業「地域のハブ」になる複合店を作った



## ランドリーとカフェとマルシェとSS企業が「地域のハブ」になる複合店を作った



積は約300平米。ご覧の通り、結構広いです。これを生かして、地域のコミュニティスペースとなる新業態店舗を作ろうと発想しました。地域の「ハブ(中心点・接続点の意)」的なお店を作りたい、そう考えたんです」

この部分のコラボも忘れていません。カフェのオープンデッキにはエンチョーさんで実際に販売している「キャンピングチェア」を置いて、このチェアを気に入ってもらえれば、その足で実物をすぐ購入に行ける。こういうのも利便性だと思えます。まだ計画段階ですが、その逆バージョンで「エンチョーさんでお買い物したら、このコーヒー割引チケットがもらえる」というようなアイデアも良いですね」

確かにオープンデッキの一面には、実際に顧客が使用するのとは別に1脚、品番や値段が記された「見本のチェア」も展示してある。

「当社「富士見町店」のカフェとのコラボよりさらに大きく、コインランドリーとの相乗効果は様々な点で、ただ単にコラボしているだけではありません。例えばマルシェ部分で売っているスイーツは、地元有名店のもの。イトインのスペースも広めに取って、ランチにお茶にご利用頂いています」

「何より、店舗がホームセンター内にある訳ですから、その相乗効果は、もちろん、ただ単にコラボしているだけではありません。例えばマルシェ部分で売っているスイーツは、地元有名店のもの。イトインのスペースも広めに取って、ランチにお茶にご利用頂いています」

ホームセンターで取り扱うキャンピングチェアをオープンデッキに設置。実物を利用できる



「リードフック」設置済みの、安心してペット同伴で来店できる

「リードフック」設置済みの、安心してペット同伴で来店できる



パワエディに富んだマルシェの品揃え

「新しいコロナ禍や原油価格の高騰など、SSにとって、またSSに限らず、厳しい状況が続いています。自社のみならず、取引先とも一緒に、地域社会全体で乗り切っていきたいと思っているんです。この店が、そうした動きの起点となれば」と結んだ。

「何より、店舗がホームセンター内にある訳ですから、その相乗効果は、もちろん、ただ単にコラボしているだけではありません。例えばマルシェ部分で売っているスイーツは、地元有名店のもの。イトインのスペースも広めに取って、ランチにお茶にご利用頂いています」

「何より、店舗がホームセンター内にある訳ですから、その相乗効果は、もちろん、ただ単にコラボしているだけではありません。例えばマルシェ部分で売っているスイーツは、地元有名店のもの。イトインのスペースも広めに取って、ランチにお茶にご利用頂いています」

「何より、店舗がホームセンター内にある訳ですから、その相乗効果は、もちろん、ただ単にコラボしているだけではありません。例えばマルシェ部分で売っているスイーツは、地元有名店のもの。イトインのスペースも広めに取って、ランチにお茶にご利用頂いています」